

＜ もくじ ＞	
1. 巻頭言：人生の居場所が変わるとき、新旧の人生と対面する	1
2. 2024年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part3」開催のお知らせ（再掲）	2
3. 研究会からのお知らせ	2
4. 研究会からの概要報告	3
5. 事務局からのお知らせとお願い	5

1. 巻頭言：人生の居場所が変わるとき、新旧の人生と対面する

シニア社会学会大会は、6月22日千葉商科大学で「共生型コミュニティの創出」をメインテーマに掲げ行われた。時節柄を見据えたタイミングの良いテーマ設定であった。

ところで、共生型コミュニティとしての生活拠点が変わることは人生における一大事である。そのことを

多摩川を渡る電車を眺めおり介護施設に入りて5日目
と、柳田主馬（東京都多摩市、2024年6月16日、朝日歌壇）は詠む。



詠人は数日前までの生活拠点を何らかの理由で離れざるを得ず、選択したのが介護施設だった。生活拠点の移動であるという出来事は、当人が抱え込まなければならない大小様々な人生上の些事から公の処置に至る事柄の煩雑さを予想させられるが、共生型コミュニティであるがゆえにそのことに随伴する再編の心情において「よし」と得心できるか否かを自問せざるを得ない、その心象風景をこの歌は歌いこんでいる。生活の場の移動を得心したいが、得心には歳月が必要と承知しているがなお、移動前後の歳月は心細くもあるし愛おしい。

詠人が共生型コミュニティという言葉に承知していたか否かは想定外のことであるが、コミュニティを形容する共生体験について論じる際、いったん立ち止まり、思考を整理したくなる。今年のNHK朝ドラ『虎と翼』のヒロイン寅子が問題の転換点に差し掛かると、「はて？」と立ち止まるように。

場面は変わる。石牟礼道子（1927-2018年）は『苦界浄土 わが水俣病』で、「世の中から一人ひきはなされゆきよること。うちゃ寂しゆして、どげん寂しかが、あんたにゃわかるみゃ」と、水俣病を病む個体体験を言語化している。水俣病は作品の普遍化においてコミュニティは陸（おか）の人びとのみならず、海中の魚やタコやその他様々な生物を包み込んで、生き物の世界に包み込む在りようからコミュニティの存在感を記述している。生命体の総括において、その集団包括性を言い表すコミュニティという言葉は生み出されたのだ。コミュニティと共生とは人類発展史においては同列なのである。

一般社団法人シニア社会学会

副会長 濱口晴彦

2. 2024年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part3」開催のお知らせ

(再掲)

平均寿命が男女とも80歳を超え、約9割が65歳まで生存するという長寿時代がやってきました。長生きはめでたいことですが、景気の低迷、物価高、政情不安、国際紛争、自然災害の頻発など、不安材料が満載です。かつてのように家族や地域共同体に頼ることが難しくなった今日、最期まで自立し、安心して暮らせる長寿時代を実現するためにはどんな準備や心構えが必要か、この講座が皆様のヒントになることを願っております。

《講演内容・日程（開催時間は、全て14:00~16:00）》

◆第1回9月28日（土） 天野 彰（シニア社会学会理事 建築家）

テーマ：「長寿の家」

◆第2回10月19日（土） 木村 利人（シニア社会学会会員 早稲田大学名誉教授）

テーマ：「自分のいのちは自分が決める～バイオエシックス(生命倫理)を実践する」

◆第3回12月7日（土） 吉田 太一（シニア社会学会会員 株式会社キーパーズ代表取締役）

テーマ：「天国へのお引越し～遺品整理のはなし」

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

□主 催：一般社団法人シニア社会学会・東京家政学院大学共催

□会 場：東京家政学院大学三番町キャンパス1602教室、Zoom 併用によるハイブリッド開催

□参加費：会員・非会員：各回1,000円（学生：無料）

□申込方法：

①Peatix で申し込まれる場合（会場参加・オンライン参加）

<https://renzokukouza2024.peatix.com/>

②Eメールで申し込まれる場合

シニア社会学会Eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）へ以下の事項を記載し、お申込み下さい。

- ・お名前 ・参加区分（会員／非会員／学生【大学名と学部を明記】）
- ・参加講座（第一回／第二回／第三回）
- ・参加方法（会場参加／オンライン）オンライン参加の方は事前に参加費をお振込みください。

※ 詳細については同報のチラシをご覧ください。

3. 研究会からのお知らせ

(1) 第71回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ（再掲）

1) 開催日時：2024年9月19日（木） 15:00~17:00

2) 開催場所：早稲田大学26号館1102会議室（対面とZoomのハイフレックス開催）

3) 開催主体：早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」、当学会「災害と地域社会」研究会共催

4) 報告者：野坂 真（青森公立大学経営経済学部地域未来学科 准教授）

阿部晃成（地域社会と危機管理研究所 招聘研究員）

5) テーマ：「能登半島地震に関する報告」（仮）

※ 参加ご希望の方、お問合せは、長田（pf00052@nifty.com）までご連絡ください。

(2) 第99回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ（再掲）

1) 日 時：2024年9月19日（木） 15:00~18:00

2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ：①討議—濱口座長：「コミュニティ論『人生の居場所が変わるとき、新旧の人生と対面する』」

②発表—大下 勝巳：「好ましいコミュニティの創出」について

4) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@joom.home.ne.jp) までお願い致します。

(3) 第53回「社会情報」研究会開催のお知らせ(再掲)

1) 日 時：2024年9月25日(水) 16:00~17:00

2) 場 所：ちよだプラットフォームスクウェア501会議室

3) 概 要：結局「スマホ購入に至ったか」をテーマに進める

※参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(4) 第164回 「社会保障」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2024年9月25日(水) 18:00~20:00

2) 報告者：小野浩平 (SOMPO ホールディングス渉外部課長)

3) テーマ：「SOMPO ケアが取り組む科学的介護経営」

4) オンラインで開催いたします。

※ 参加を希望される方は、阿部 (fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp) にご連絡ください。
資料をお送りいたします。

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(5) 第54回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2024年9月27日(金) 17:30~19:30

2) 場 所：Zoom 開催

3) テーマ：「ペリリュー島の戦いとは何か」

- ・太平洋戦争時、パラオのペリリュー島で日米の死闘が繰り広げられた理由
- ・日本軍はどう戦ったのか
- ・最後は目的が失われて、双方の殺し合いになったのは何故か。
- ・玉砕と言われながら34人が生き残った。
- ・進まない遺骨収集等。

4) 担当者：柴本淑子さん(フリー編集者 当学会理事)

※ ご連絡ご質問は、中村昌子 (nakamurayoshiko6@gmail.com) までお願いします。

(6) 第48回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

1) 日 時：2024年9月28日(土) 18:30~20:30

2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室

3) 発表者：鈴木 眞澄、及びその他 YNS やまぶき任意後見、アワーズ、学会員の方

4) テーマ：認知症とともに生きる 「信託」と「任意後見」のことを考えていきます。

びしょうざ
劇団 「B笑座」

認知症を可視化し、できるだけわかりやすくします。人形劇、寸劇、その他劇団員を募集しています。Zoomの参加もできます。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) 迄お願い致します。

4. 各研究会の概要報告

(1) 第163回「社会保障」研究会報告要旨

1) 日 時：2024年8月21日(水) 18:00~20:00

2) 報告者：藤崎 亨(日本介護食品協議会・事務局長)

- 3) テーマ：「日本介護食品協議会とユニバーサルデザインフード（UDF）」
- 4) オンラインで開催
- 5) 参加人数 10名

食欲は人間にとって根源的な欲求であり、口から食べることは栄養を補給するだけでなく、生きる喜びや楽しみ、さらにはQOLの向上にもつながる。しかし高齢化に伴って、歯が損失し、筋力が衰えて噛む力が弱まり、唾液の分泌が少なくなって嚥下が困難になる。

食べる機能の低下に対応して、噛みやすい、飲み込みやすい食品の開発が進められてきた。1980年代には嚥下障害による誤嚥性肺炎の多発が注目されたことにより、介護食品がクローズアップされるようになった。当初は特別養護老人ホームで、手作りされていたが、80年代後半には食品業界が手掛けるようになった。90年代にはとろみ剤が広まり、2000年にはレトルト食品が開発された。介護食品は要介護高齢者の食生活を改善させるだけでなく、介護者の負担も軽減する。

02年には、日本介護食品協議会が設立され、03年にはUDF(ユニバーサルデザインフード)の自主規格が創られ、「固さ」や「食べやすさ」による類型化が行われ、ロゴマークもつくられた。最初の10年間は40社余りの加入に留まっていたが、その後急増し、現在は100社近くに上る。当初は病院や施設の利用に限られていたが、最近ではスーパーやドラッグストアに置いてもらえるようになり、在宅にも広がるようになり、業績は右肩上がりである。課題としては、①コストと経済性、②市場規模の限界(多品種少量生産)、③普及と認知度、④社会的受容があげられる。

参加者には、UDFについて初めて聞く者が大半であり、今後利用してみたいという者に加えて、病院の待合にポスターを貼る、ケアマネや訪問看護師に情報を伝えるなどによってPRすることが提案された。(袖井孝子 記)

(2) 第47回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2024年8月24日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：認知症とともに生きる (鈴木眞澄 記)

(3) 「ライフプロデュース」研究会「Late summer party 2024 (Zoom 編)」報告

- 1) 日 時：2024年8月28日(水) 11:30~13:30 Zoomで開催
- 2) 報告者：中村昌子 「ライフプロデュース」研究会世話人 当学会理事
- 3) タイトル：「Late summer party 2024 (Zoom 編)」

この納涼会は7月26日(金曜日)に銀座で開催した、「納涼会しゃぶしゃぶランチ会」の続編でした。Zoom開催ということで、関東在住メンバーに加えて、前々回からご参加いただいている、岩手県北上市で農業に従事している牧子さん(60代)、青森県弘前市から7年前に千葉県新松戸に移住し、現在は以前のキャリアを活かして「障がい者ガイドヘルパー」のお仕事をしているエリ子さん(60代)、東京都足立区から沖縄県南城市に移住して今夏、一年経過した、シニア世代専門のフィットネストレーナー、パラレルワークとして「個人事業主のHP 開設やそのデザイン」を手掛け、並行して「個人投資家」でもあるSAYAさん(60代)、そして、横浜市金沢文庫在住、当学会(理事)でJaas Newsの編集を担当されている松島悦子さんにもご参加いただき、各自用意した飲み物、おつまみなどを楽しみながら、和気藹々とした雰囲気の中で晩夏2024、計8名での交流の場となりました。

前半は、初参加の方も3名おられたので、当学会で当研究会の「立ち位置や設立時のコンセプトとテーマの変遷」などをパワーポイントにてご紹介、後半は、首都圏とそれ以外の地域のシニアの意識の相違点にフォーカスして、それぞれが自由に発言しつつ会を進めていきました。特に、7年前に青森県の過疎地から新松戸に移住されたエリ子さん、そして2023年に沖縄県南城市に移住したSAYAさんの共通点は、立て続けにご主人、ご両親、きょうだいと身内を介護し続け、看取

った、見送った喪失体験を経て、居住する場所そのものをリセットして「移住という英断」に至った経緯について傾聴し、参加者全員で意見交換し、首都圏と地方の風土やシニア世代への意識の相違など率直に意見交換できたことは大変貴重でした。

アフターコロナのイベントとして、岩手県北上市、沖縄県南城市、現地への視察研修旅行を兼ねて、現地のシニアの皆さんとの交流企画もありますので、当研究会に関心のある会員の方は、この機に是非、第54回から再開する、「月例 Zoom 研究会」に参加してみませんか？ お待ちしております。
(中村昌子 記)

5. 事務局からのお知らせとお願い

◆「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2024」開催のご案内（再掲）

主催：さわやか福祉財団

- 全体テーマ：「目指せ 地域共生社会 ごちゃまぜにつながろう！」
それぞれの地域はどう具体的に進めていけばいいのか。抱えている悩みや課題の解決に向けて、必要な考え方や助け合いの多様な働きかけ方を学び合う。
- 開催期間：2024年10月15日（火）～10月24日（木）
- 開催方法：完全オンライン配信形式
11月30日（土）までライブ配信以外の全プログラムがアーカイブ配信で視聴可能
- 主な内容：オープニングフォーラム：「地域共生社会をみんなで作るための提言」
特別トーク：各界代表者による特別講演 / 学ぼう編：8テーマ / 語ろう編：3テーマ
- 申込期間：2024年8月14日（水）～10月24日（木）（最終申込日）
- 参加費：1,000円（税込）

※ 詳細は、「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2024」特設ページ URL

<https://festa.sawayakazaidan.or.jp>

※ 問い合わせ：公益財団法人さわやか福祉財団 オンラインフェスタ担当

メール：festa@sawayakazaidan.or.jp

電話：03-5470-7751（平日9：30～17：30）

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

<2024年10月 JAAS News の発行日>

次回 JAAS News 第302号の発行日は、2024年10月16日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、10月11日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/